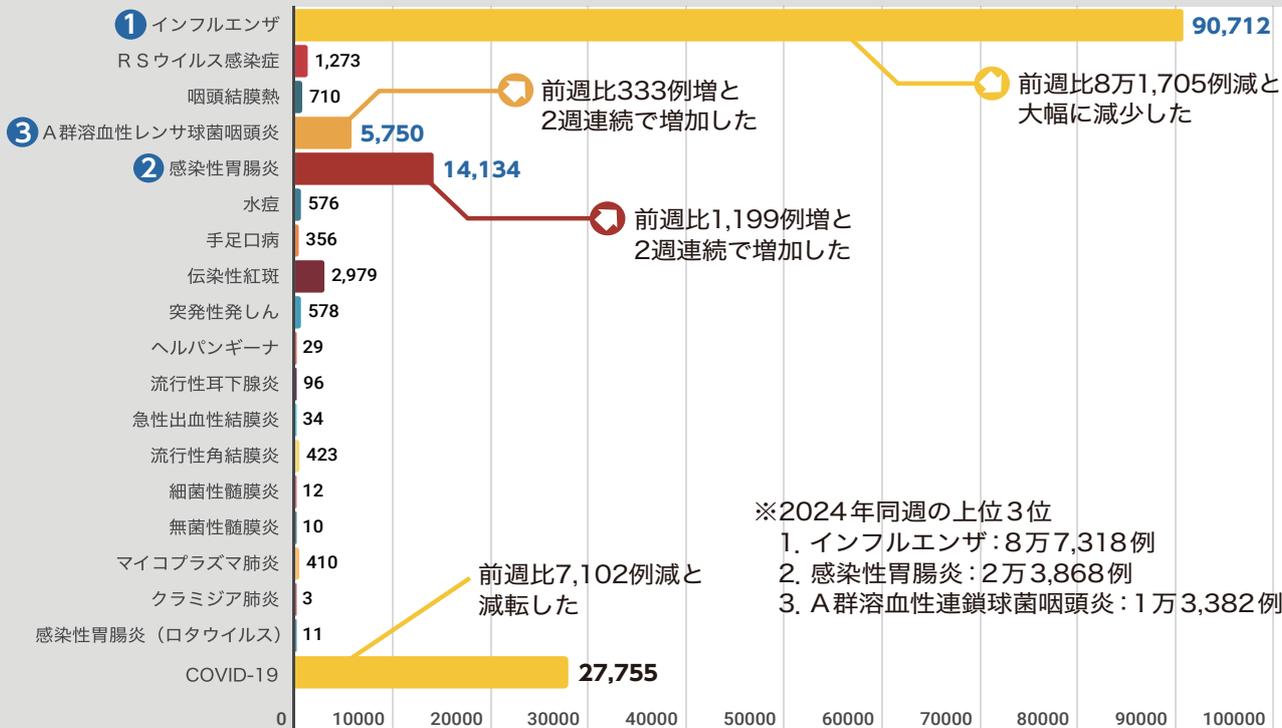




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

# インフル減少も、伝染性紅斑の流行続く

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



※2024年同週の上位3位  
 1. インフルエンザ: 8万7,318例  
 2. 伝染性胃腸炎: 2万3,868例  
 3. A群溶血性連鎖球菌咽頭炎: 1万3,382例

(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

## ①インフルエンザ

報告数

1. 埼玉県: 4,629例
2. 愛知県: 4,318例
3. 東京都: 4,297例

定点当たりの報告数(18.38)

- |               |               |               |                |
|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 1. 沖縄県: 33.30 | 4. 宮崎県: 31.64 | 7. 山形県: 26.83 | 10. 香川県: 25.06 |
| 2. 高知県: 32.14 | 5. 徳島県: 30.51 | 8. 佐賀県: 25.51 | 11. 熊本県: 24.75 |
| 3. 石川県: 31.81 | 6. 愛媛県: 28.02 | 9. 長崎県: 25.27 | 12. 宮城県: 24.62 |

## ②伝染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 1,572例
2. 神奈川県: 990例
3. 大阪府: 885例

定点当たりの報告数(4.52)

- |              |              |              |               |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 大分県: 9.83 | 4. 熊本県: 6.76 | 7. 富山県: 6.00 | 10. 千葉県: 5.84 |
| 2. 石川県: 8.14 | 5. 福岡県: 6.66 | 8. 東京都: 5.98 | 11. 山口県: 5.74 |
| 3. 宮崎県: 6.94 | 6. 福井県: 6.48 | 9. 群馬県: 5.91 | 12. 佐賀県: 5.35 |

## ③A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都: 464例
2. 福岡県: 377例
3. 北海道: 354例

定点当たりの報告数(1.84)

- |              |              |              |               |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 茨城県: 4.31 | 4. 佐賀県: 3.52 | 7. 福岡県: 3.17 | 10. 山口県: 2.72 |
| 2. 富山県: 4.14 | 5. 新潟県: 3.36 | 8. 岩手県: 2.77 | 11. 千葉県: 2.68 |
| 3. 大分県: 3.69 | 6. 宮崎県: 3.19 | 9. 鳥取県: 2.74 | 12. 愛媛県: 2.61 |

## 今週の感染症動向

インフルエンザは前週から8万1,705例減少したが、定点当たりの報告数はいまだ5県で警報レベルの30.00を上回っている。報告数が最も少なかった都道府県は東京都(10.28)で、神奈川県(11.60)、大阪府(11.84)と続いた。伝染性胃腸炎は1,199例増と2週連続で増加した。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎も333例増と2週連続で増加している。COVID-19は7,102例減少した。伝染性紅斑の流行が続いており、定点当たりの報告数は、埼玉県(3.06)、青森県(2.97)、千葉県(2.60)、福島県(2.43)、東京都(2.32)、栃木県(2.04)で警報レベルの2.00を超えている。インフルエンザはピークアウトの兆しが見られるものの依然として多く、他の感染症も増加傾向にあり引き続き注意が必要である。